



# ProFコンフィギュレーション インストール・ガイド

# ProFコンフィギュレーション

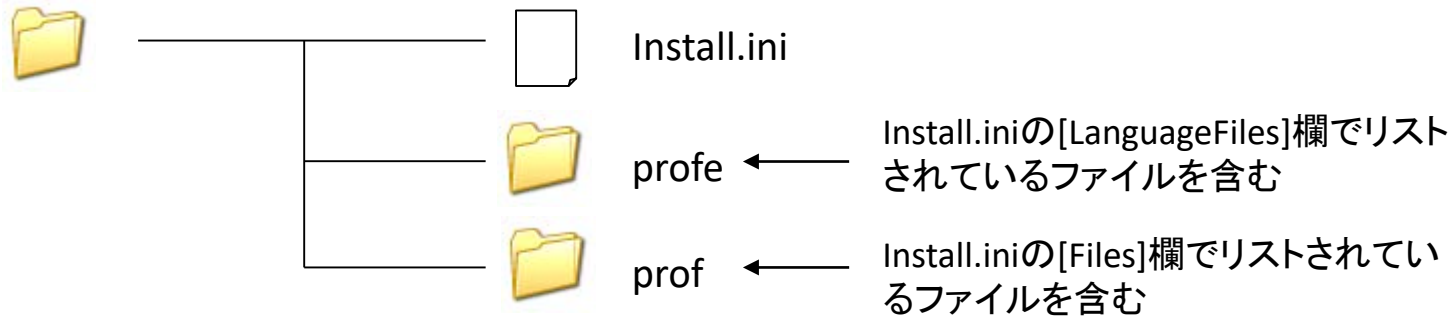
## 1. はじめに

- 本資料では、INCAにおいてECUのフラッシュ書き込みを実行するためのProFコンフィギュレーションのインストール方法について記載しています。
- ご用意いただくもの
  - INCAのインストールされたPC
  - インストールを行うProFコンフィギュレーション

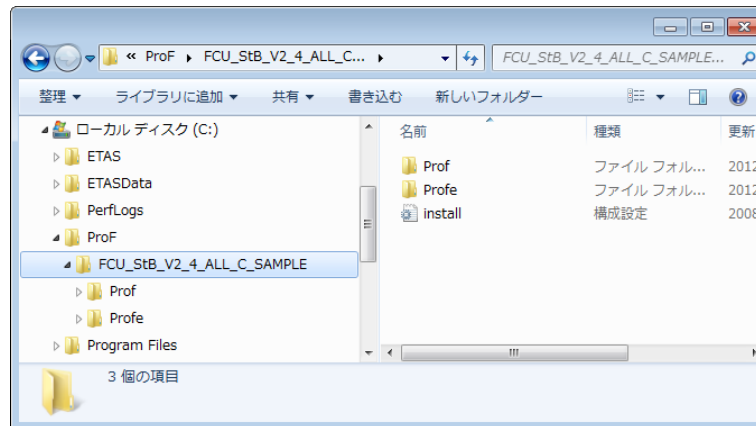
# ProFコンフィギュレーション

## 1. はじめに

- ProFコンフィギュレーションはECUメーカーから提供された状態では、以下のようなフォルダ構成となっています。



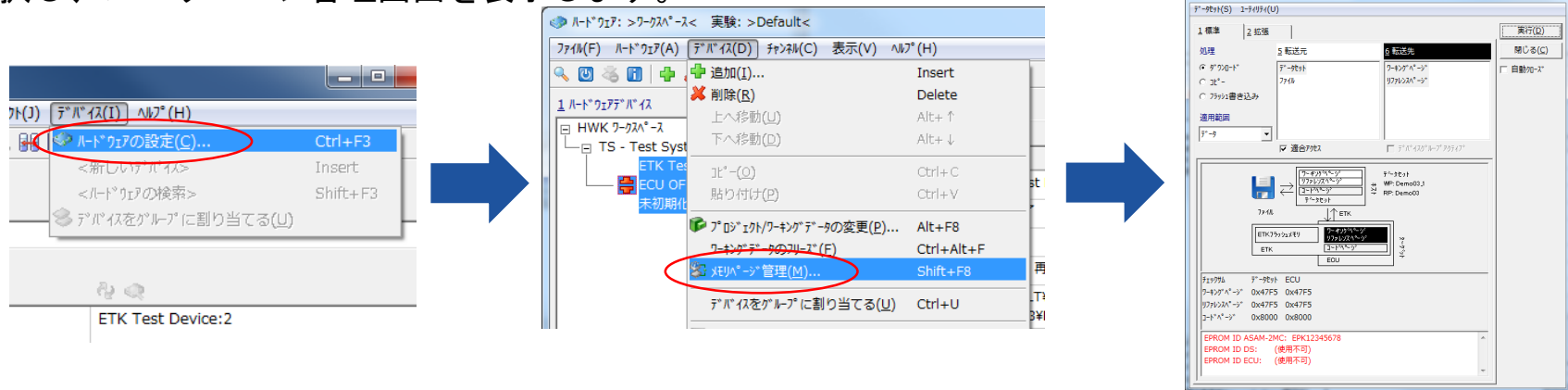
- ProFコンフィギュレーションをINCAにインストールする前に、c:\¥ProFなどの分かり易いフォルダへコピーしておいてください。これが「インストール元フォルダ」になります。このとき、INCA Ver6以前をお使いの場合、**日本語を含む2バイト文字の入ったパスは避けてください。**



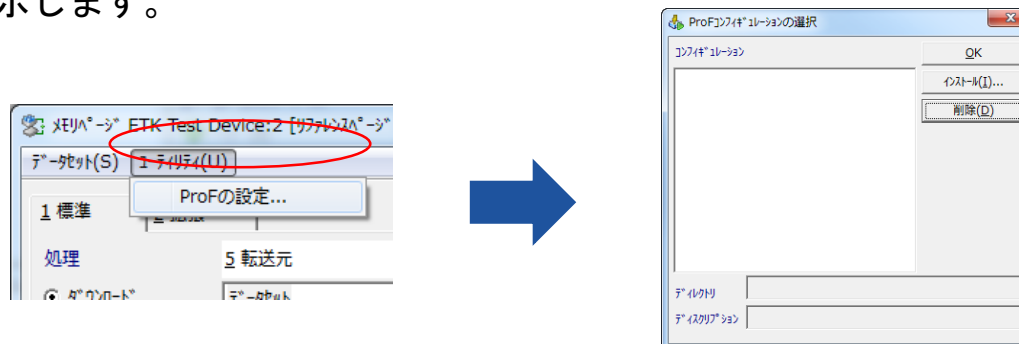
# ProFコンフィギュレーション

## 2. インストール手順

- ワークスペースを選択し、INCAのメニューからデバイス>ハードウェアの設定を選択します。（ワークスペースおよびECUプロジェクトが存在しない場合は作成しておいてください。）これによりハードウェア・コンフィギュレーション画面が表示されます。
- ハードウェア・コンフィギュレーション画面では、メニューからデバイス>メモリページ管理を選択し、メモリページ管理画面を表示します。



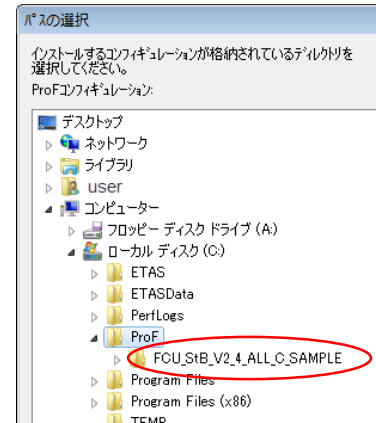
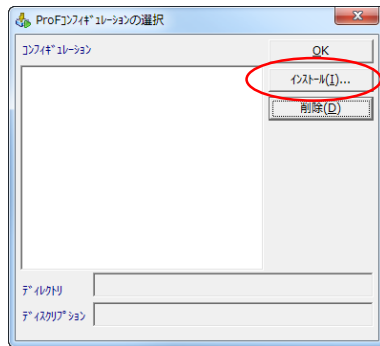
- メモリページ管理画面のメニューからユーティリティ>ProFの設定を選択し、ProFコンフィギュレーションの選択画面を表示します。



# ProFコンフィギュレーション

## 2. インストール手順

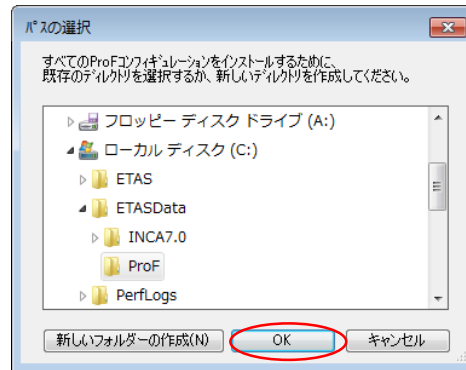
- ProFコンフィギュレーションの選択画面から"インストール"ボタンをクリックします。
- 最初にProFコンフィギュレーションをコピーしておいたフォルダ（インストール元フォルダ）から、ProFコンフィギュレーションのinstall.iniファイルの入っているフォルダを選択して"OK"ボタンをクリックします。



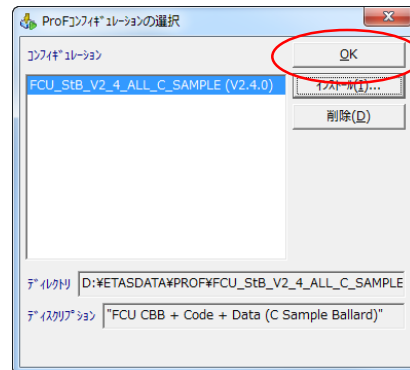
# ProFコンフィギュレーション

## 2. インストール手順

- 次に、INCAがProFの保存位置として認識する「インストール先のフォルダ」を選択します。  
( INCA Ver6以前をお使いの場合、デフォルト設定とは異なるフォルダを指定する際には 日本語を含む2バイト文字が入ったパスは避けてください。また、インストール元と同じフォルダを指定するとエラーの原因となるため避けてください。 )



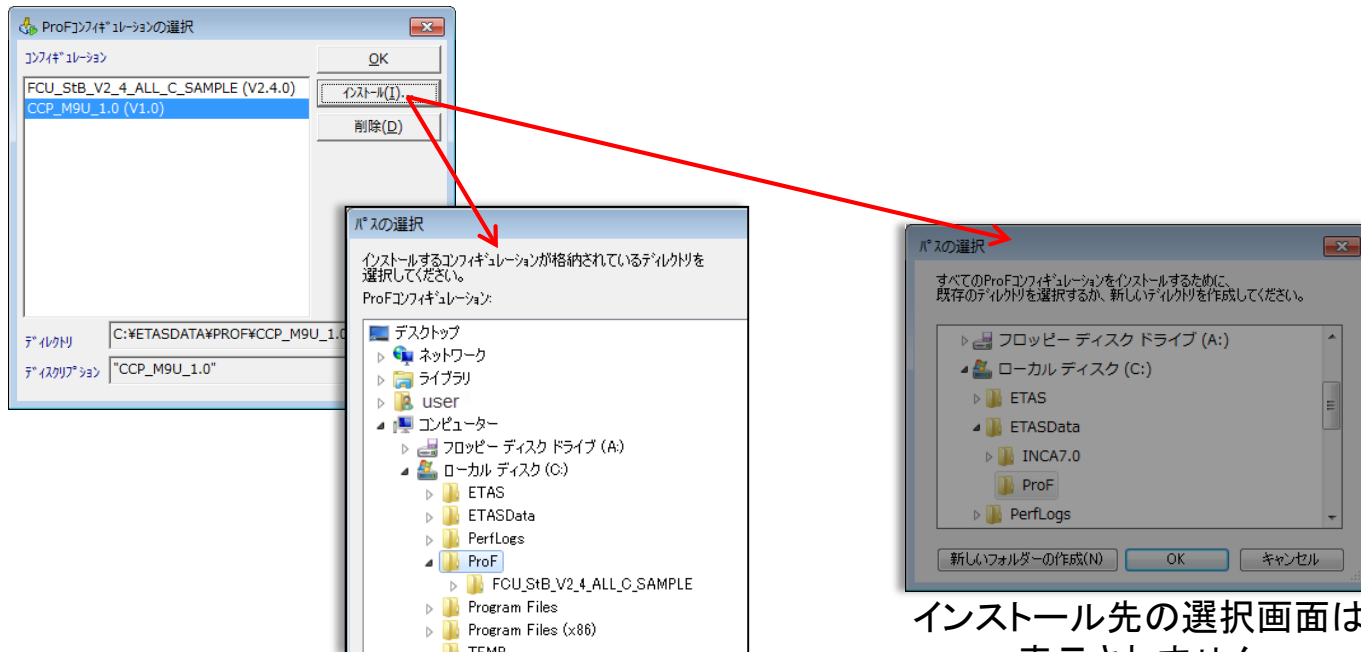
- これでProFコンフィギュレーションのインストールは完了しましたので、「OK」ボタンをクリックして、各画面を閉じます。



# ProFコンフィギュレーション

## 3. 2回目以降のインストールについて

- INCAでは、初回にProFをインストールした際に、ProFのインストール元フォルダと、インストール先フォルダの情報を保持します。
- これにより、2回目以降のインストール時にはProFのインストール元のフォルダが自動的に開きます。また、インストール先フォルダを選択する画面は表示されません。



インストール元を自動で開きます

インストール先の選択画面は表示されません

# ProFコンフィギュレーション

## 4. 注意事項

- ProFコンフィギュレーションはインストール時に自分自身のパスを内部に書き込むため、**すでにインストールしたProFコンフィギュレーションの位置を移動したり別PCへコピーすることはできません。**



# ProFコンフィギュレーション

## 5. INCA Ver6以前に関する注意事項

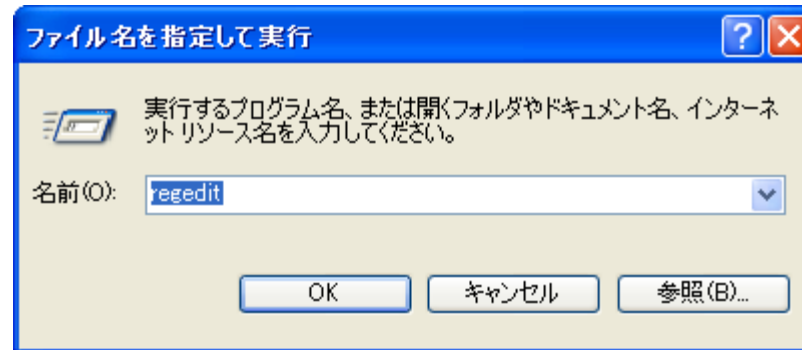
- INCA Ver.6以前の環境にProFコンフィギュレーションをインストールする際、日本語などの2バイト文字の入ったパスを選択してしまうと、以下のようなエラーが出たり、また、以降新規のProFコンフィギュレーションのインストールができなくなってしまいます。
- このような状況を回避するためには、インストール元やインストール先のフォルダとして保存されたパスの情報を手動で変更する必要があります。
- 手動でこのパスを変更するには、Windowsのレジストリエディタを利用します。



# ProFコンフィギュレーション

## 5. INCA Ver6以前に関する注意事項／レジストリ変更手順

- ※レジストリの操作は、Windowsの動作に影響を及ぼす可能性があるため、作業するにはご注意ください。
- Windowsのスタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、「regedit」と入力してレジストリエディタを起動します。



# ProFコンフィギュレーション

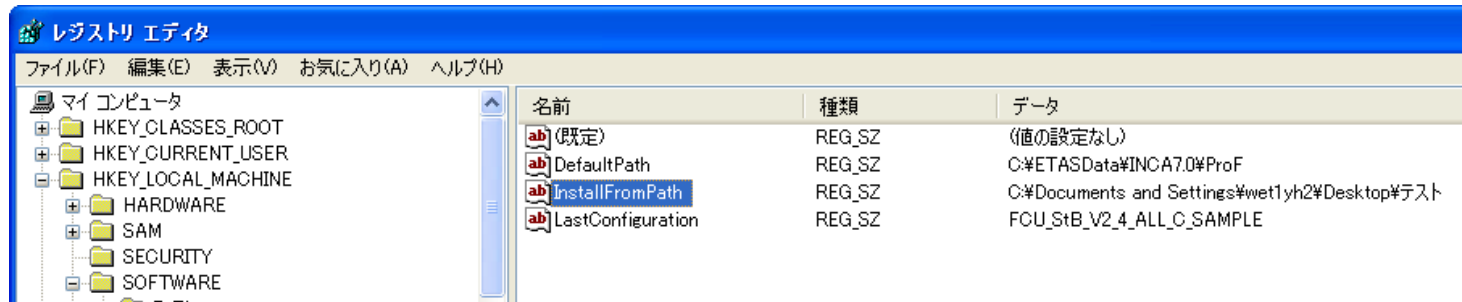
## 5. INCA Ver6以前に関する注意事項／レジストリ変更手順

2. 以下のレジストリキーを選択してください。

[32bit Windows] ¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥ETAS¥ProFConfig¥

[64bit Windows] ¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ETAS¥ProFConfig¥

– 以下の様な表示になります。



3. InstallFromPath（インストール元フォルダのパス）、DefaultPath（インストール先フォルダのパス）をクリックしてそれぞれの設定を日本語などの2バイト文字が含まないパスに変更してください。

※インストール先とインストール元に同じ場所は指定しないようにしてください。

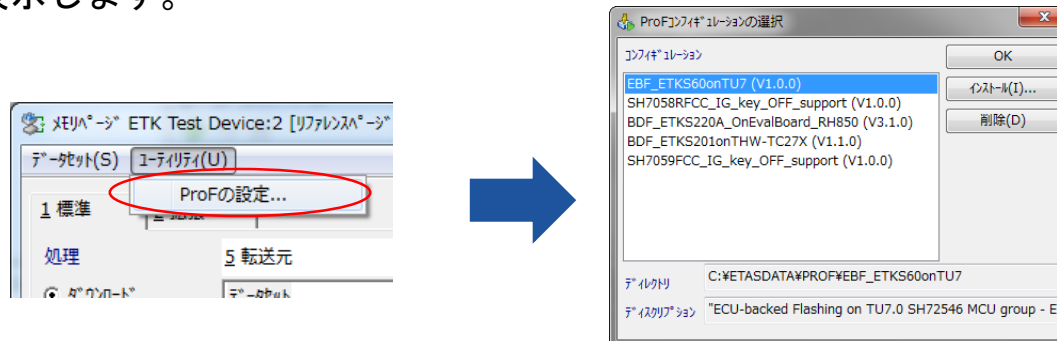
# ProFコンフィギュレーション

## 6. コンフィギュレーションの削除手順

- ワークスペースを選択し、INCAのメニューからデバイス>ハードウェアの設定を選択します。（ワークスペースおよびECUプロジェクトが存在しない場合は作成しておいてください。）これによりハードウェア・コンフィギュレーション画面が表示されます。
- ハードウェア・コンフィギュレーション画面では、メニューからデバイス>メモリページ管理を選択し、メモリページ管理画面を表示します。



- メモリページ管理画面のメニューからユーティリティ>ProFの設定を選択し、ProFコンフィギュレーションの選択画面を表示します。



# ProFコンフィギュレーション

## 6. コンフィギュレーションの削除手順

- ProFコンフィギュレーションの選択画面で削除したいコンフィギュレーションを選択し、「削除」ボタンをクリックします。
- 「コンフィギュレーションを削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。コンフィギュレーションが削除されます。

